



777

ダンプトラック

技術仕様

コンフィギュレーションおよび機能は地域により異なります。利用可能かどうかは、地域のCat®ディーラーにお問い合わせください。

目次

仕様.....	2
エンジン – Tier 4 Final/Stage V	2
エンジン – Tier 2相当	2
トランスミッション.....	2
ファイナルドライブ	2
ブレーキ.....	2
ボディホイスト	2
容量 – デュアルスロープ – 100%フィルファクター	3
容量 – Xボディ – 100%フィルファクター	3
容量 – 石炭用ボディ – 100%フィルファクター	3
質量配分 – 概算値	3
騒音 – Tier 4 Final/Stage V/Tier 2相当	3
エアコンシステム	3
サスペンション.....	3
ステアリング.....	3
転倒時運転者保護構造 (ROPS/FOPS).....	3
タイヤ	3
整備交換時の容量	3
質量/積載質量計算 – Tier 4 Final/Stage V	4
質量/積載質量計算 – Tier 2相当	6
10-10-20耐用年数を最大限に延ばすためのペイロード管理方針.....	8
寸法.....	9
リターダ性能 – Tier 4 Final/Stage V	10
性能 – Tier 2相当	13
登坂能力/速度/けん引力 – Tier 4 Final/Stage V	16
登坂能力/速度/けん引力 – Tier 2相当	17
標準およびオプション装備品	18
777の環境に関する宣言	20

777ダンプトラック仕様

エンジン – Tier 4 Final/Stage V

エンジンモデル	CAT® C32B	
定格回転数	1,800 rpm	
定格出力(グロス) – SAE J1995:2014	765 kW	1,025 hp
定格出力(ネット) – SAE J1349:2011、ISO 9249:2007	683 kW	916 hp
エンジン出力 – ISO 14396:2002	752 kW	1,008 hp
正味トルク回転数(1,200 rpm時)	5,044 N·m	3,720 lbf-ft
正味トルクライズ	39%	
シリンダ	12	
内径	145 mm	5.7 in
行程	162 mm	6.4 in
総行程容積(排気量)	32.1 L	1,959 in ³

- 定格出力(ネット)は、エンジンにファン、エアクリーナ、後処理装置、オルタネータが装備された状態で、エンジン回転数が1,800 rpmのときに、フライホイール部で得られる出力です。
- これらの定格出力は、指定された規格の指定された条件下で、回転数が1,800 rpmのときの値です。
- 定格は、気温25 °C (77 °F)、気圧計が100 kPa (29.61 Hg) を示す、SAE J1995の標準的な空気状態におけるものです。出力は、16 °C (60 °F) におけるAPI比重が35、LHVが42,780 kJ/kg (18,390 BTU/lb) の燃料で、エンジンを30 °C (86 °F) で使用した場合のものです。
- 2,286 m (7,500 ft) までは、エンジンの出力レベルを下げる必要はありません。
- 米国EPA Tier 4 FinalおよびEU Stage Vの各排出ガス基準に適合。

エンジン – Tier 2相当

エンジンモデル	CAT® C32B	
定格回転数	1,800 rpm	
定格出力(グロス) – SAE J1995:2014	765 kW	1,025 hp
定格出力(ネット) – SAE J1349:2011、ISO 9249:2007、80/1269/EEC	704 kW	945 hp
エンジン出力 – ISO 14396:2002	755 kW	1,012 hp
正味トルク回転数(1,200 rpm時)	5,286 N·m	3,899 lbf-ft
正味トルクライズ	37%	
シリンダ	12	
内径	145 mm	5.7 in
行程	162 mm	6.4 in
総行程容積(排気量)	32.1 L	1,959 in ³

- 定格出力(ネット)は、エンジンにファン、エアクリーナ、マフラ、オルタネータが装備された状態で、エンジン回転数が1,800 rpmのときに、フライホイール部で得られる出力です。
- これらの定格出力は、指定された規格の指定された条件下で、回転数が1,800 rpmのときの値です。
- 定格は、気温25 °C (77 °F)、気圧計が100 kPa (29.61 Hg) を示す、SAE J1995の標準的な空気状態におけるものです。出力は、16 °C (60 °F) におけるAPI比重が35、LHVが42,780 kJ/kg (18,390 BTU/lb) の燃料で、エンジンを30 °C (86 °F) で使用した場合のものです。
- 4,572 m (15,000 ft) までは、エンジンの出力レベルを下げる必要はありません。
- 米国EPA Tier 2相当の認定のないコンフィギュレーション

トランスミッション

前進1速	10.7 km/h	6.6 mph
前進2速	14.6 km/h	9.1 mph
前進3速	19.2 km/h	11.9 mph
前進4速	26.7 km/h	16.6 mph
前進5速	36.2 km/h	22.5 mph
前進6速	48.6 km/h	30.2 mph
前進7速	65.9 km/h	40.9 mph
後進	12.1 km/h	7.5 mph

- 最高走行速度は、27.00R49 (E4) 標準タイヤを使用した場合の値です。

ファイナルドライブ

ディファレンシャルレシオ	2.736:1	
プラネタリレシオ	7.0:1	
合計減速比率	19.1576:1	

ブレーキ

ブレーキ表面 – フロント	40,846 cm ²	6,331 in ²
ブレーキ表面 – リア	102,116 cm ²	15,828 in ²
ブレーキ基準	ISO 3450:2011	

ボディホイスト

ポンプ流量 – 高速アイドル時	458 L/min	120.9 gal/min
リリーフバルブ設定 – 上げ	18,950 kPa	2,750 psi
リリーフバルブ設定 – 下げ	3,450 kPa	500 psi
ボディ上昇時間 – 高速アイドル時	15.0秒	
ボディ下降時間 – フロート	13.0秒	
ボディ下降時間 – 高速アイドル時	13.0秒	

容量 – デュアルスロープ – 100%フィルファクター

平積み	41.9 m ³	54.8 yd ³
山積み (SAE 2:1) *	60.1 m ³	78.6 yd ³

- 推奨ボディについては、お近くのCatディーラーにご相談ください。
- * ISO 6483:1980

容量 – Xボディ – 100%フィルファクター

平積み	43.1 m ³	56.3 yd ³
山積み (SAE 2:1) *	64.1 m ³	83.8 yd ³

- 推奨ボディについては、お近くのCatディーラーにご相談ください。
- * ISO 6483:1980

容量 – 石炭用ボディ – 100%フィルファクター

SAE 2:1 (マテリアル密度 1,160 kg/m ³ (1,950 lb/yd ³) で使用)	89.3 m ³	116.8 yd ³
SAE 2:1 (マテリアル密度 1,040~1,160 kg/m ³ (1,750~1,950 lb/yd ³) で使用)	106 m ³	139 yd ³
SAE 2:1 (マテリアル密度 950~1,040 kg/m ³ (1,600~1,750 lb/yd ³) で使用)	110 m ³	144 yd ³
SAE 2:1 (マテリアル密度 950 kg/m ³ (1,600 lb/yd ³) 未満で使用)	125.9 m ³	164.6 yd ³

質量配分 – 概算値

フロントアクスル – 空車時	42%
フロントアクスル – 積車時	33%
リアアクスル – 空車時	58%
リアアクスル – 積車時	67%

騒音 – Tier 4 Final/Stage V/Tier 2相当

オペレータ音圧レベル (ISO 6396:2008)	71 dB (A)
機械音圧レベル (ISO 6395:2008)	116 dB (A)

- 運転者音圧レベルは、ISO 6396:2008に従って測定した場合の値です。この測定は、エンジン冷却ファン速度を最高回転数の70%にして行われています。
- 車両音響出力レベルは、ISO 6395:2008に従って測定した場合の値です。この測定は、エンジン冷却ファン速度を最高回転数の70%にして行われています。
- 開放型の運転室やキャブ (適切にメンテナンスされていない場合や、ドア/ウィンドウを開いている状態) で、長時間作業を行うときや騒音の激しい環境では、聴力保護具が必要になる場合があります。

エアコンシステム

- 当機械のエアコンシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒R134aまたはR1234yfを使用しています。ガスの識別情報については、機械のラベルを参照してください。
- R134a (地球温暖化係数=1430) を使用した場合、システムには1.9 kg (4.2 lb) の冷媒、つまり2.71メートルトン (2.674トン) のCO₂相当物が含まれます。
- R1234yf (地球温暖化係数=0.501) を使用した場合、システムには1.85kg (4.1 lb) の冷媒、つまり0.001メートルトン (0.001トン) のCO₂相当物が含まれます。

サスペンション

無積載時から積載時までのシリンダストローク (フロント)	74.7 mm	2.9 in
無積載時から積載時までのシリンダストローク (リア)	66.0 mm	2.5 in
リアアクスルオシレーション	+/- 5.4°	

ステアリング

ステアリング基準	ISO 5010:2019	
ステア角	30.5°	
旋回半径 - フロント	25.3 m	83 ft
旋回半径 - クリアランス直径	28.4 m	93 ft

転倒時運転者保護構造 (ROPS/FOPS)

ROPS/FOPS標準

- Caterpillar製のキャブ用ROPSは、運転席でISO 3471:2008、トレーナシートでISO 13459:2012を満たしています。
- FOPS (Falling Objects Protective Structure、落下物保護構造) は、運転席でISO 3449:2005 Level II、トレーナシートでISO 13459:2012 Level IIを満たしています。

タイヤ

標準タイヤ	27.00R49 (E4)	
-------	---------------	--

- 777トラックの生産能力は、特定の作業条件下では、標準またはオプションのタイヤのTKPH (TMPH) の能力限界を超えてしまうことがあります。したがって生産が制限される可能性があります。
- Caterpillarでは、すべての作業条件を検討し、タイヤメーカーとご相談の上、適切なタイヤを選択することをお勧めします。

整備交換時の容量

燃料タンク	1,136.0 L	300.0 gal
	1,325.0 L	350.0 gal
冷却系統 – Tier 4 Final	231.0 L	61.0 gal
冷却系統 – Tier 2	219.0 L	57.9 gal
クランクケース	109.0 L	28.7 gal
ディファレンシャル	227.0 L	59.9 gal
ファイナルドライブ (各)	76.0 L	20.0 gal
ステアリングシステム (タンクを含む)	53.6 L	14.1 gal
ホイストとブレーキ油圧システム	444.0 L	117.0 gal
フロントホイール (各個)	7.5 L	1.98 gal
トルクコンバータ/ トランスミッションシステム	138.5 L	36.5 gal

777ダンプトラック仕様

質量/積載質量計算 – Tier 4 Final/Stage V

Xボディ(フラットフロア)									
コンフィギュレーション別の機械質量		ライナなし		ライナあり		HDライナあり		ラバーライナあり	
ベース: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)	20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)	
ライナ: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)			12/10/16 (0.47/0.39/0.63)		16/10/10 (0.63/0.39/0.39)		102/10/10 (4.02/0.39/0.39)	
ボディ容量	m ³ (yd ³)	64.1	(83.8)	63.5	(83.1)	63.3	(82.8)	60.9	(79.7)
目標車両総質量	kg (lb)	164,654	(363,000)	164,654	(363,000)	164,654	(363,000)	164,654	(363,000)
空のシャーシ質量	kg (lb)	51,286	(113,066)	51,286	(113,066)	51,286	(113,066)	51,286	(113,066)
ボディシステム質量	kg (lb)	15,851	(34,945)	20,676	(45,583)	22,249	(49,051)	23,042	(50,800)
無積載時機械質量	kg (lb)	67,137	(148,011)	71,962	(158,649)	73,535	(162,117)	74,328	(163,865)
燃料タンクサイズ	L (gal)	1,136	(300)	1,136	(300)	1,136	(300)	1,136	(300)
燃料タンク – 100%充填	kg (lb)	955	(2,106)	955	(2,106)	955	(2,106)	955	(2,106)
無積載時機械運転質量	kg (lb)	68,092	(150,117)	72,917	(160,755)	74,490	(164,222)	75,283	(165,971)
Payload (ペイロード)									
目標ペイロード (100%)*	kg (lb)	96,562	(212,883)	91,737	(202,245)	90,164	(198,778)	89,371	(197,029)
	メートルトン (トン)	96.6	(106.4)	91.7	(101.1)	90.2	(99.4)	89.4	(98.5)
最大積載量 (目標値の110%)*	kg (lb)	106,218	(234,170)	100,911	(222,469)	99,180	(218,656)	98,308	(216,732)
	メートルトン (トン)	106.2	(117.1)	100.9	(111.2)	99.2	(109.3)	98.3	(108.4)
積載質量 (目標値の120%)*を超えないこと	kg (lb)	115,874	(255,458)	110,084	(242,694)	108,197	(238,533)	107,245	(236,435)
	メートルトン (トン)	115.9	(127.7)	110.1	(121.3)	108.2	(119.0)	107.2	(118.2)

*Caterpillar 10-10-20ペイロード方針を参照してください。

積載質量計算: 定義

目標積載質量 = 目標の総機械質量 - 無積載時機械運転質量

無積載時機械運転質量 = 無積載時シャーシ質量 + ボディシステム質量 + 燃料

最大積載量 = 目標積載質量 × 1.10 (110%)

質量/積載質量計算 – Tier 4 Final/Stage V

		デュアルスロープ					
コンフィギュレーション別の機械質量		ライナなし		ライナあり		ラバーライナあり	
ベース: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)	20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)	
ライナ: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)			12/10/12 (0.47/0.39/0.47)		102/10/10 (4.02/0.39/0.39)	
ボディ容量	m ³ (yd ³)	60.1	(78.6)	59.5	(77.8)	57	(74.6)
目標車両総質量	kg (lb)	164,654	(363,000)	164,654	(363,000)	164,654	(363,000)
空のシャーシ質量	kg (lb)	51,286	(113,066)	51,286	(113,066)	51,286	(113,066)
ボディシステム質量	kg (lb)	16,075	(35,439)	21,770	(47,995)	23,017	(50,744)
無積載時機械質量	kg (lb)	67,361	(148,506)	73,056	(161,061)	74,303	(163,810)
燃料タンクサイズ	L (gal)	1,136	(300)	1,136	(300)	1,136	(300)
燃料タンク – 100%充填	kg (lb)	955	(2,106)	955	(2,106)	955	(2,106)
無積載時機械運転質量	kg (lb)	68,316	(150,612)	74,011	(163,167)	75,258	(165,916)
Payload (ペイロード)							
目標ペイロード (100%)*	kg (lb)	96,338	(212,388)	90,643	(199,833)	89,396	(197,084)
	メートルトン (トン)	96.3	(106.2)	90.6	(99.9)	89.4	(98.5)
最大積載量 (目標値の110%)*	kg (lb)	105,972	(233,627)	99,707	(219,816)	98,336	(216,792)
	メートルトン (トン)	106.0	(116.8)	99.7	(109.9)	98.3	(108.4)
積載質量 (目標値の120%)*を超えないこと	kg (lb)	115,606	(254,866)	108,772	(239,800)	107,275	(236,501)
	メートルトン (トン)	115.6	(127.4)	108.8	(119.9)	107.3	(118.2)

*Caterpillar 10-10-20ペイロード方針を参照してください。

サイドボード (オプション)

高さ		容量追加		質量		最大 (110%) マテリアルの密度**	
mm	(in)	m ³	(yd ³)	kg	(lb)	kg	(lb)
152	(6)	4.1	(5.3)	976	(1,174)	1,569	(2,656)
305	(12)	7.9	(10.3)	1,513	(1,819)	1,469	(2,497)
457	(18)	11.5	(15.1)	2,003	(2,408)	1,387	(2,361)
610	(24)	14.8	(19.3)	2,568	(3,088)	1,317	(2,251)
175	(6.9) (Xボディのみ)	5.1	(6.7)	852	(1,024)	1,472	(2,490)

**すべてのサイドボードはDS裏打ち付きボディに基づきます。Xボディサイドボードは裏打ち付きXボディに基づきます。

無積載時シャーシ質量 (燃料なし)

積載質量計算: 定義

目標積載質量 = 目標の総機械質量 - 無積載時機械運転質量

無積載時機械運転質量 = 無積載時シャーシ質量 + ボディシステム質量 + 燃料

最大積載量 = 目標積載質量 × 1.10 (110%)

777ダンプトラック仕様

質量/積載質量計算 – Tier 2相当

Xボディ(フラットフロア)									
コンフィギュレーション別の機械質量		ライナなし		ライナあり		HDライナあり		ラバーライナあり	
ベース: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)	20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)	
ライナ: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)			12/10/16 (0.47/0.39/0.63)		16/10/10 (0.63/0.39/0.39)		102/10/10 (4.02/0.39/0.39)	
ボディ容積	m ³ (yd ³)	64.1	(83.8)	63.5	(83.1)	63.3	(82.8)	60.9	(79.7)
目標車両総質量	kg (lb)	164,654	(363,000)	164,654	(363,000)	164,654	(363,000)	164,654	(363,000)
空のシャーシ質量	kg (lb)	51,141	(112,747)	51,141	(112,747)	51,141	(112,747)	51,141	(112,747)
ボディシステム質量	kg (lb)	15,851	(34,945)	20,676	(45,583)	22,249	(49,050)	23,042	(50,800)
無積載時機械質量	kg (lb)	66,992	(147,692)	71,817	(158,329)	73,390	(161,797)	74,183	(163,546)
燃料タンクサイズ	L (gal)	1,136	(300)	1,136	(300)	1,136	(300)	1,136	(300)
燃料タンク – 100%充填	kg (lb)	955	(2,106)	955	(2,106)	955	(2,106)	955	(2,106)
無積載時運転質量	kg (lb)	67,947	(149,797)	72,772	(160,435)	74,345	(163,903)	75,138	(165,651)
Payload (ペイロード)									
目標ペイロード (100%) *	kg (lb)	96,707	(213,202)	91,882	(202,565)	90,309	(199,097)	89,516	(197,349)
	メートルトン (トン)	96.7	(106.7)	91.9	(101.3)	90.3	(99.5)	89.5	(98.7)
目標ペイロードマテリアル密度	kg/m ³ (lb/yd ³)	1,676	(2,825)	1,608	(2,710)	1,578	(2,660)	1,633	(2,753)
最大作動ペイロード (110%) *	kg (lb)	106,378	(234,523)	101,070	(222,821)	99,340	(219,007)	98,468	(217,085)
	メートルトン (トン)	106.4	(117.3)	101.1	(111.4)	99.3	(109.5)	98.5	(108.6)
最大作動ペイロードマテリアル密度	kg/m ³ (lb/yd ³)	1,844	(3,108)	1,769	(2,982)	1,736	(2,926)	1,797	(3,029)
最大許容ペイロード (120%) *	kg (lb)	116,048	(255,842)	110,258	(243,078)	108,371	(238,917)	107,419	(236,818)
	メートルトン (トン)	116.0	(127.9)	110.2	(121.5)	108.4	(119.5)	107.4	(118.4)
最大許容ペイロードマテリアル密度	kg/m ³ (lb/yd ³)	2,012	(3,391)	1,928	(3,250)	1,893	(3,191)	1,960	(3,304)

*Caterpillar 10-10-20ペイロード方針を参照してください。

質量/積載質量計算 – Tier 2相当

		デュアルスロープ					
コンフィギュレーション別の機械質量		ライナなし		ライナあり		ラバーライナあり	
ベース: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)	20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)		20/10/12 (0.79/0.39/0.47)	
ライナ: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)			12/10/12 (0.47/0.39/0.47)		102/10/10 (4.02/0.39/0.39)	
ボディ容積	m ³ (yd ³)	60.1	(78.6)	59.5	(77.8)	57.0	(74.6)
目標車両総質量	kg (lb)	164,654	(363,000)	164,654	(363,000)	164,654	(363,000)
空のシャーシ質量	kg (lb)	51,141	(112,747)	51,141	(112,747)	51,141	(112,747)
ボディシステム質量	kg (lb)	16,075	(35,439)	21,770	(48,003)	23,017	(50,752)
無積載時機械質量	kg (lb)	67,216	(148,186)	72,911	(160,741)	74,158	(163,490)
燃料タンクサイズ	L (gal)	1,136	(300)	1,136	(300)	1,136	(300)
燃料タンク – 100%充填	kg (lb)	955	(2,106)	955	(2,106)	955	(2,106)
無積載時運転質量	kg (lb)	68,171	(150,291)	73,866	(162,847)	75,113	(165,596)
Payload (ペイロード)							
目標ペイロード (100%) *	kg (lb)	96,483	(212,709)	90,788	(200,153)	89,541	(197,404)
	メートルトン (トン)	96.5	(106.4)	90.8	(100.1)	89.5	(98.7)
目標ペイロードマテリアル密度	kg/m ³ (lb/yd ³)	1,784	(3,007)	1,695	(2,857)	1,745	(2,941)
最大作動ペイロード (110%) *	kg (lb)	106,131	(233,979)	99,867	(220,169)	98,495	(217,144)
	メートルトン (トン)	106.1	(117.0)	99.9	(110.1)	98.4	(108.5)
最大作動ペイロードマテリアル密度	kg/m ³ (lb/yd ³)	1,962	(3,307)	1,865	(3,144)	1,920	(3,236)
最大許容ペイロード (120%) *	kg (lb)	115,780	(255,251)	108,946	(240,185)	107,449	(236,884)
	メートルトン (トン)	115.8	(127.6)	108.9	(120.0)	107.3	(118.3)
最大許容ペイロードマテリアル密度	kg/m ³ (lb/yd ³)	2,141	(3,609)	2,034	(3,428)	2,095	(3,531)

*Caterpillar 10-10-20ペイロード方針を参照してください。

サイドボード (オプション)

高さ	容量追加		質量		最大 (110%) マテリアルの密度**	
	mm (in)	m ³ (yd ³)	kg (lb)	kg (lb)	kg (lb)	
152	(6)	4.1 (5.3)	976 (1,174)	1,569 (2,656)		
305	(12)	7.9 (10.3)	1,513 (1,819)	1,469 (2,497)		
457	(18)	11.5 (15.1)	2,003 (2,408)	1,387 (2,361)		
610	(24)	14.8 (19.3)	2,568 (3,088)	1,317 (2,251)		
175	(6.9) (Xボディのみ)	5.1 (6.7)	852 (1,024)	1,472 (2,490)		

**すべてのサイドボードはDS裏打ち付きボディに基づきます。Xボディサイドボードは裏打ち付きXボディに基づきます。

無積載時シャーシ質量 (燃料なし)

積載質量計算: 定義

無積載時機械質量 = 無積載時シャーシ質量 + ボディシステム質量

目標積載質量 = 目標の総機械質量 - 無積載時機械質量

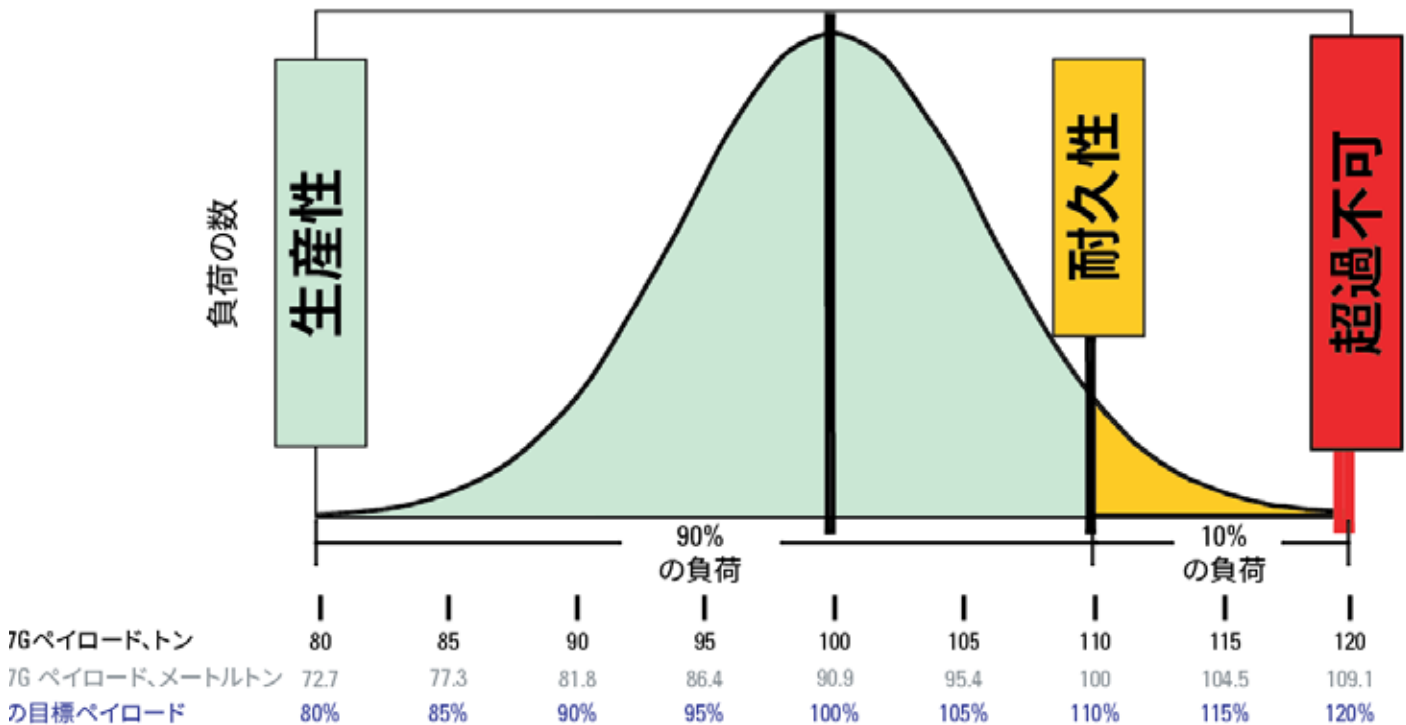
最大積載量 = 目標積載質量 × 1.10 (110%)

777ダンプトラック仕様

10-10-20耐用年数を最大限に延ばすためのペイロード管理方針

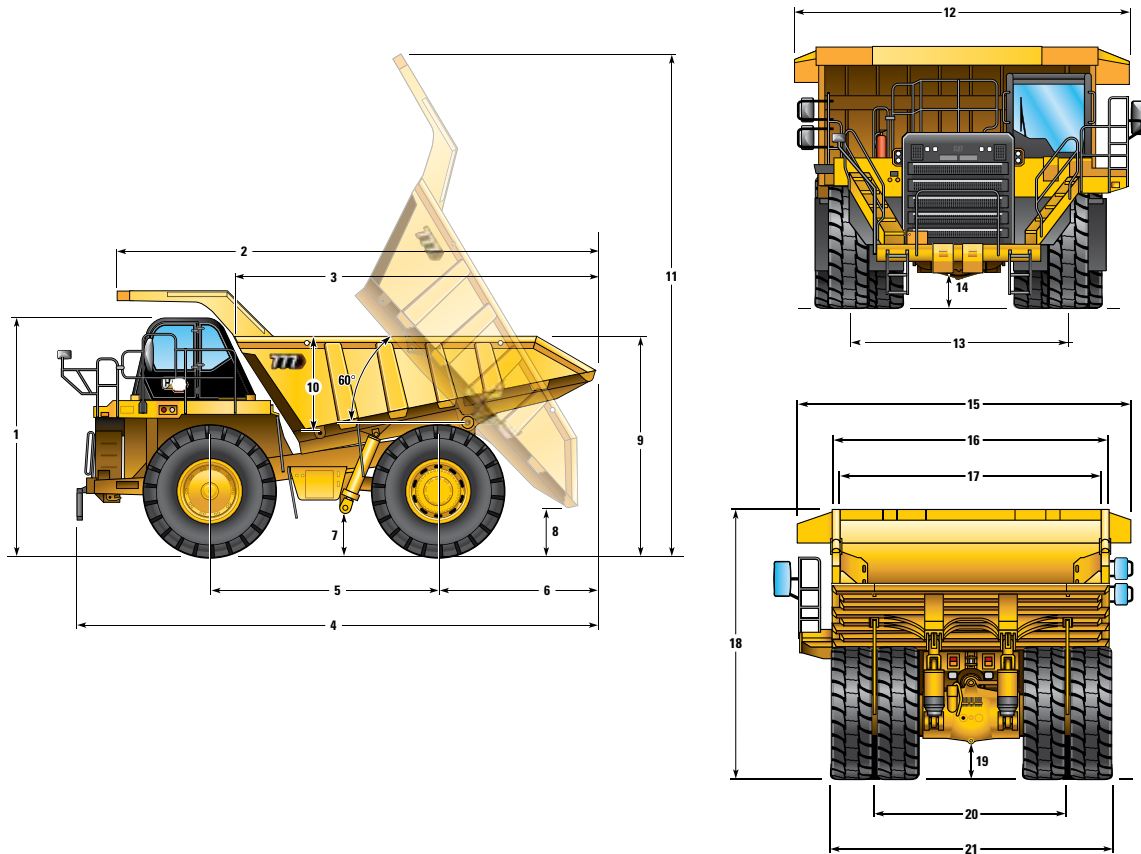
機械と機械コンポーネントの寿命を最大限に保つ理想的な運搬方法は、すべてのペイロードの平均を機械の定格目標ペイロード以下に保つことです。

- 90%の負荷がこの範囲内に収まる必要があります
- 10%を超える負荷は、目標ペイロードの10%を超えてはいけません
- 負荷は目標ペイロードの20%を超えてはいけません



寸法

寸法はすべて概算値です。



	デュアルスローブ		Xボディ		石炭用ボディ1		石炭用ボディ2	
1 ROPS頂部までの高さ	4,730 mm	15.50 ft	4,730 mm	15.50 ft	4,730 mm	15.50 ft	4,730 mm	15.50 ft
2 ボディ全長	9,830 mm	32.20 ft	10,070 mm	33.04 ft	10,274 mm	33.71 ft	10,445 mm	34.27 ft
3 内側ボディ長さ	6,580 mm	21.50 ft	7,037 mm	23.09 ft	7,562 mm	24.81 ft	7,734 mm	25.37 ft
4 全長	10,535 mm	34.50 ft	10,758 mm	35.30 ft	10,968 mm	35.98 ft	11,140 mm	36.55 ft
5 ホイールベース	4,560 mm	14.96 ft	4,560 mm	14.96 ft	4,560 mm	14.96 ft	4,560 mm	14.96 ft
6 リアアクスルからテールまで	3,062 mm	10.00 ft	3,263 mm	10.71 ft	3,473 mm	11.39 ft	3,644 mm	11.96 ft
7 最低地上高	896 mm	2.94 ft	896 mm	2.94 ft	896 mm	2.94 ft	896 mm	2.94 ft
8 ダンプクリアランス	965 mm	3.10 ft	893 mm	2.93 ft	935 mm	3.07 ft	821 mm	2.69 ft
9 ダンプ高さ - 空荷時	4,380 mm	14.30 ft	4,429 mm	14.53 ft	4,851 mm	15.92 ft	5,321 mm	17.46 ft
10 内側ボディ深さ - 最大	1,895 mm	6.20 ft	1,777 mm	5.83 ft	2,223 mm	7.29 ft	2,693 mm	8.84 ft
11 全高 - ボディを上げた状態	9,953 mm	32.60 ft	10,071 mm	33.04 ft	10,319 mm	33.85 ft	10,319 mm	33.85 ft
12 運転幅	6,687 mm	21.94 ft	6,687 mm	21.94 ft	6,706 mm	22.00 ft	6,706 mm	22.00 ft
13 フロントタイヤ幅	4,170 mm	13.68 ft	4,170 mm	13.68 ft	4,170 mm	13.68 ft	4,170 mm	13.68 ft
14 エンジンガードクリアランス	864 mm	2.83 ft	864 mm	2.83 ft	864 mm	2.83 ft	864 mm	2.83 ft
15 キャノピ全幅	6,200 mm	20.34 ft	6,200 mm	20.34 ft	6,404 mm	21.01 ft	6,404 mm	21.01 ft
16 外側ボディ幅	5,524 mm	18.10 ft	5,682 mm	18.64 ft	6,365 mm	20.88 ft	6,368 mm	20.89 ft
17 ボディ内幅	5,200 mm	17.00 ft	5,450 mm	17.88 ft	6,150 mm	20.18 ft	6,150 mm	20.18 ft
18 フロントキャノピ高さ	5,200 mm	17.00 ft	5,370 mm	17.62 ft	5,840 mm	19.16 ft	5,840 mm	19.16 ft
19 リアアクスルクリアランス	902 mm	2.96 ft	902 mm	2.96 ft	902 mm	2.96 ft	902 mm	2.96 ft
20 リアデュアルタイヤ幅	3,576 mm	11.73 ft	3,576 mm	11.73 ft	3,576 mm	11.73 ft	3,576 mm	11.73 ft
21 タイヤ全幅	5,223 mm	17.14 ft	5,223 mm	17.14 ft	5,223 mm	17.14 ft	5,223 mm	17.14 ft

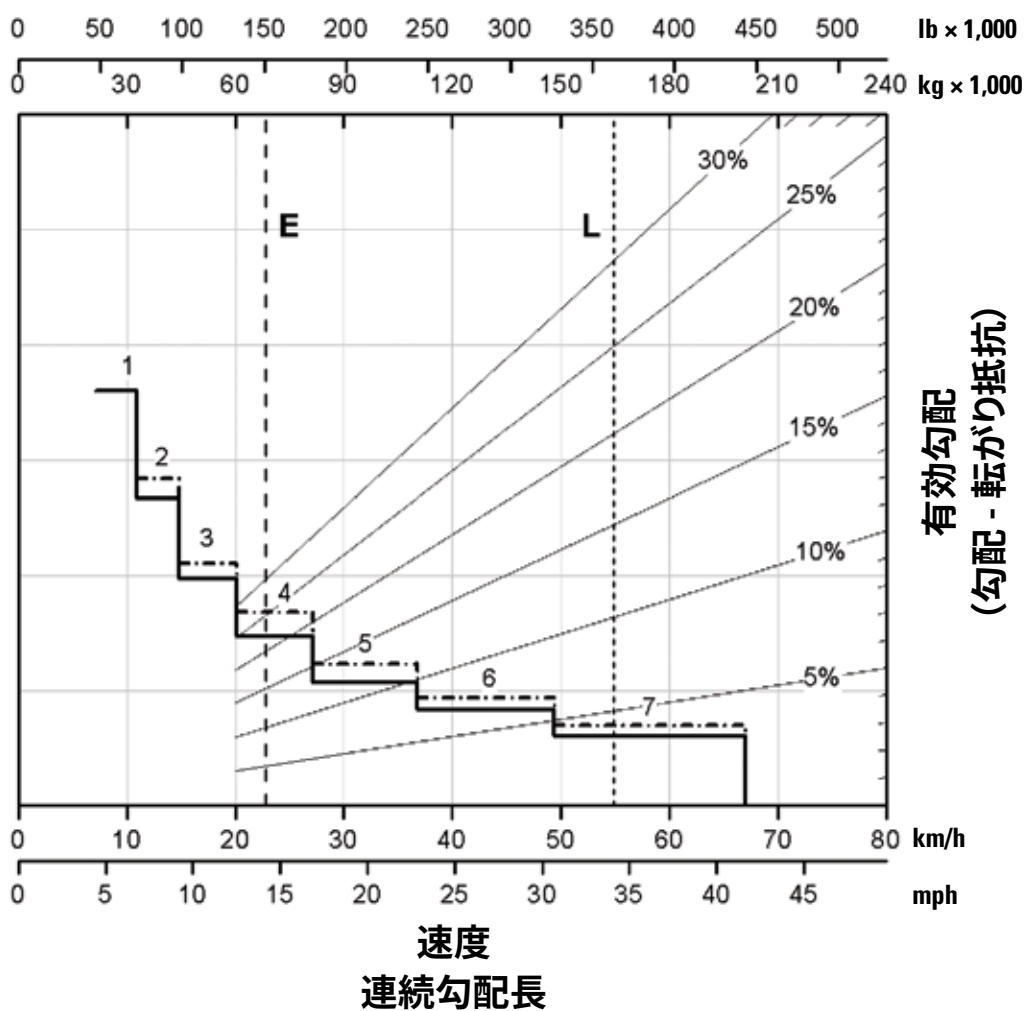
777ダンプトラック仕様

リターダ性能 – Tier 4 Final/Stage V

リターダ性能の確認方法: すべての下り坂区間の長さを合計し、この合計を使用して、適切なリターダ図を参照してください。総質量から下ろした垂線と有効勾配(%)の交点を読み取ります。有効勾配は、実際の勾配(%)から転がり抵抗10 kg/t(20 lb/米トン)につき1%を引いたものです。この質量と有効勾配の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大下り速度を確認します。この速度内では、ブレーキは冷却能力を超えることなく適切に作動します。以下の図は、周囲温度32° C(90° F)、海拔ゼロ地点、27.00R49 (E4) タイヤの条件に基づいています。

注記: 適切なギヤを選択して、エンジンが過回転しない範囲で可能な限り高いレベルにエンジンのrpmを維持してください。冷却オイルが過熱した場合は、トランスミッションが次に低い速度段にシフトできるように走行速度を下げてください。

777ブレーキ性能 • 連続勾配リターダ機能 総質量

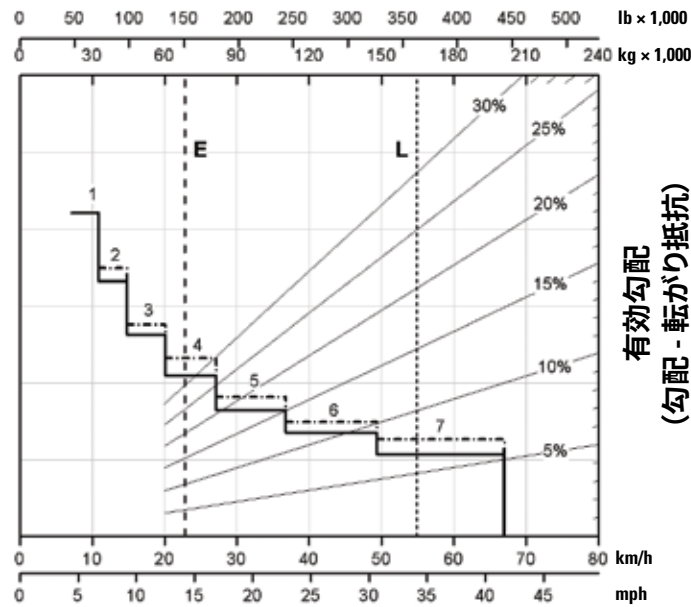


E — 無積載時68,316 kg (150,612 lb)
L — 目標GMW 164,654 kg (363,000 lb)
----- ARCのみを使用
- - - - - ARCとエンジンブレーキ

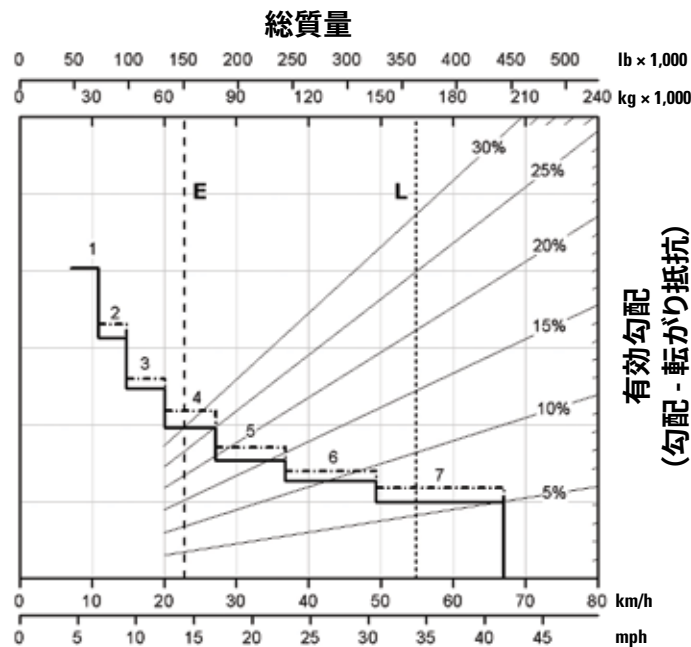
1A — 1速ギヤ(トルクコンバータ)
1B — 1速ギヤ
2A — 2速ギヤ(トルクコンバータ)
2B — 2速ギヤ
3 — 3速ギヤ
4 — 4速ギヤ
5 — 5速ギヤ
6 — 6速ギヤ
7 — 7速ギヤ

リターダ性能 – Tier 4 Final/Stage V

777ブレーキ性能 • 450 m (1,500 ft) • 600 m (2,000 ft) 総質量



勾配距離 – 450 m (1,500 ft)



勾配距離 – 600 m (2,000 ft)

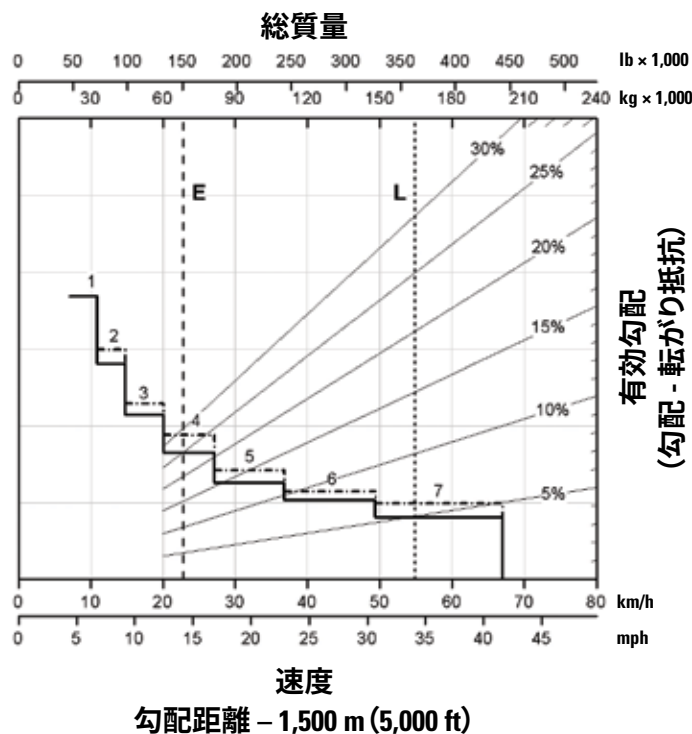
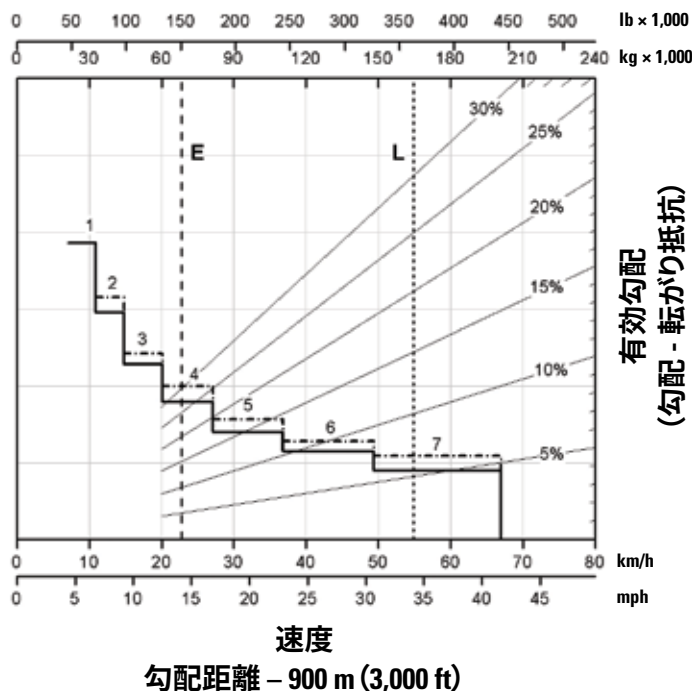
E — 無積載時68,316 kg (150,612 lb)
L — 目標GMW 164,654 kg (363,000 lb)
..... ARCのみを使用
- - - - - ARCとエンジンブレーキ

1 — 1速ギヤ
2 — 2速ギヤ
3 — 3速ギヤ
4 — 4速ギヤ
5 — 5速ギヤ
6 — 6速ギヤ
7 — 7速ギヤ

777ダンプトラック仕様

リターダ性能 – Tier 4 Final/Stage V

777ブレーキ性能 • 900 m (3,000 ft) • 1,500 m (5,000 ft) 総質量



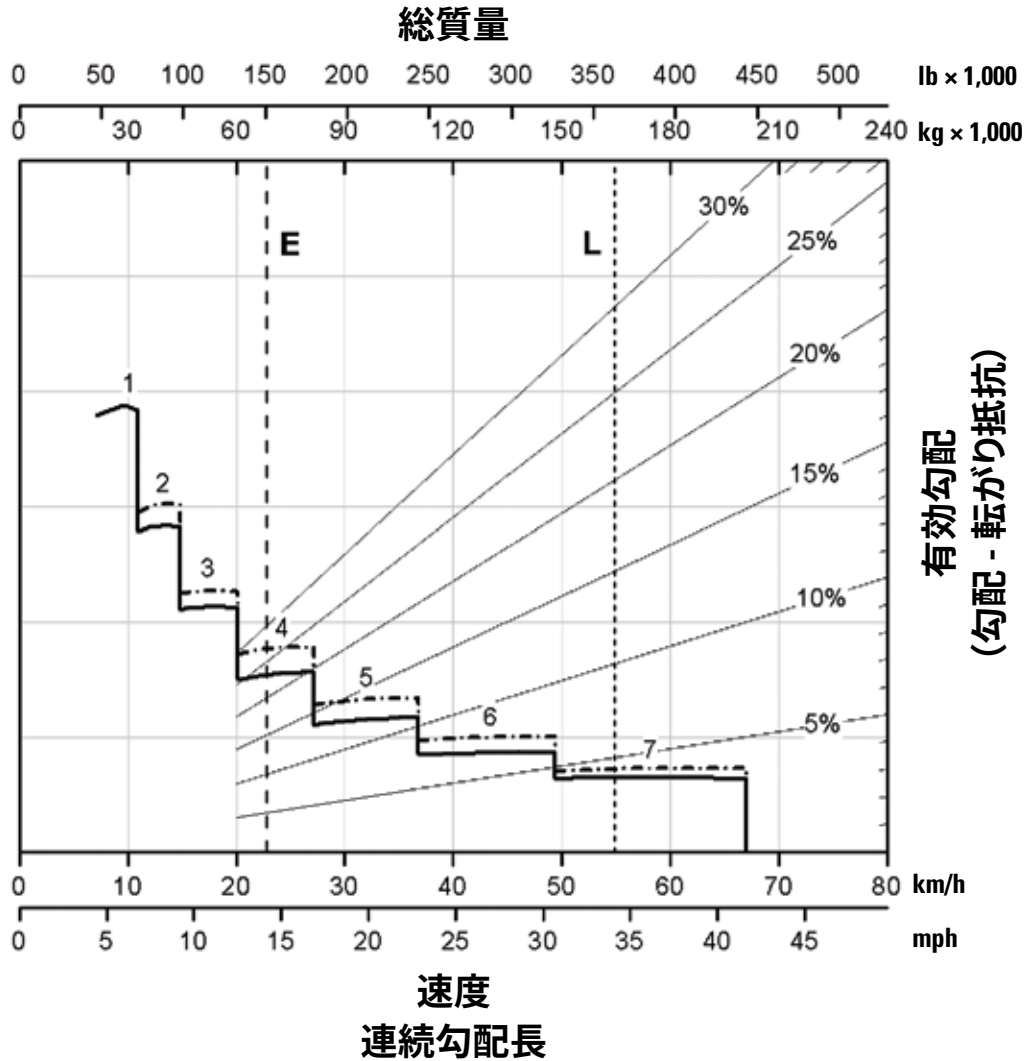
E — 無積載時68,316 kg (150,612 lb)
 L — 目標GMW 164,654 kg (363,000 lb)
 ARCのみを使用
 - - - - - ARCとエンジンブレーキ

1 — 1速ギヤ
 2 — 2速ギヤ
 3 — 3速ギヤ
 4 — 4速ギヤ
 5 — 5速ギヤ
 6 — 6速ギヤ
 7 — 7速ギヤ

性能 - Tier 2相当

リターダ性能の確認方法: すべての下り坂区間の長さを合計し、この合計を使用して、適切なリターダ図を参照してください。総質量から下ろした垂線と有効勾配(%)の交点を読み取ります。有効勾配は、実際の勾配(%)から転がり抵抗10 kg/t (20 lb/米トン)につき1%を引いたものです。この質量と有効勾配の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大下り速度を確認します。この速度内では、ブレーキは冷却能力を超えることなく適切に作動します。以下の図は、周囲温度32° C (90° F)、海拔ゼロ地点、27.00R49 (E4) タイヤの条件に基づいています。

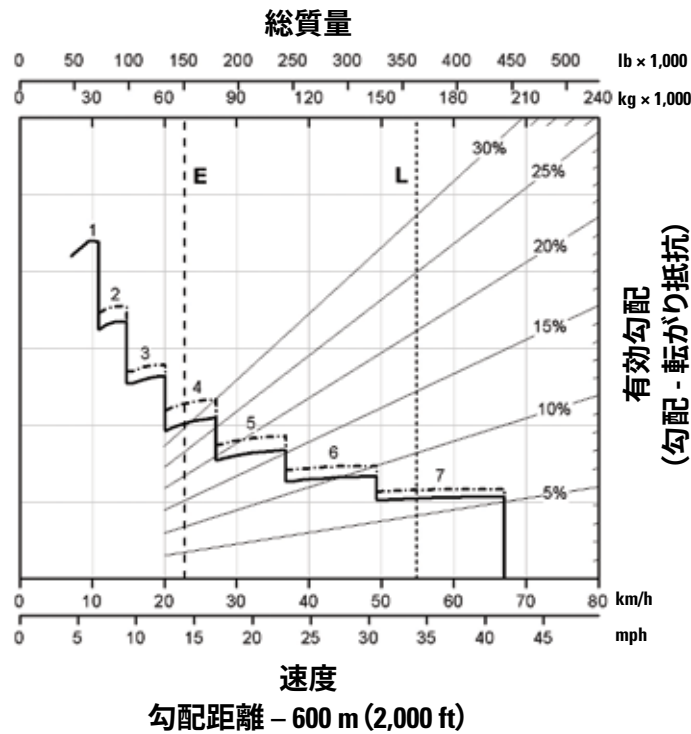
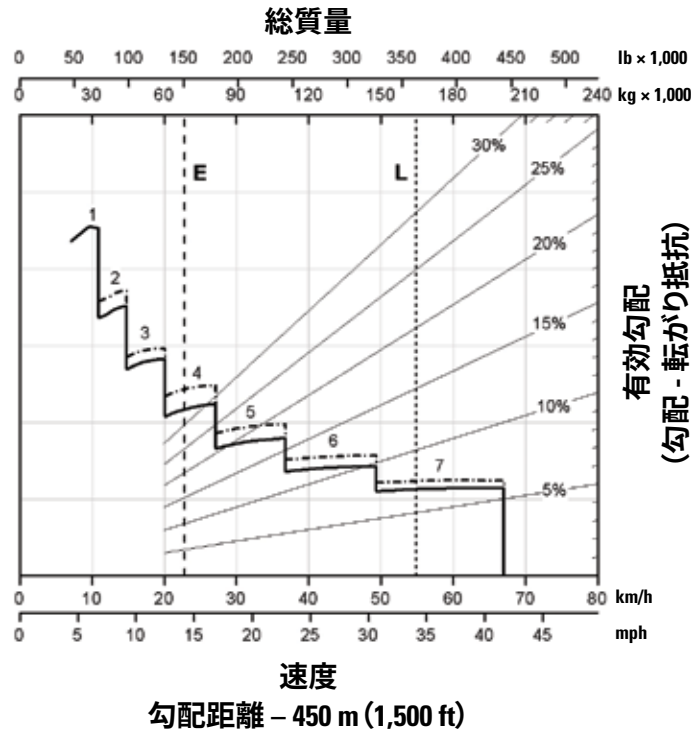
注記: 適切なギヤを選択して、エンジンが過回転しない範囲で可能な限り高いレベルにエンジンのrpmを維持してください。
冷却オイルが過熱した場合は、トランスミッションが次に低い速度段にシフトできるように走行速度を下げてください。



----- エンジンブレーキ

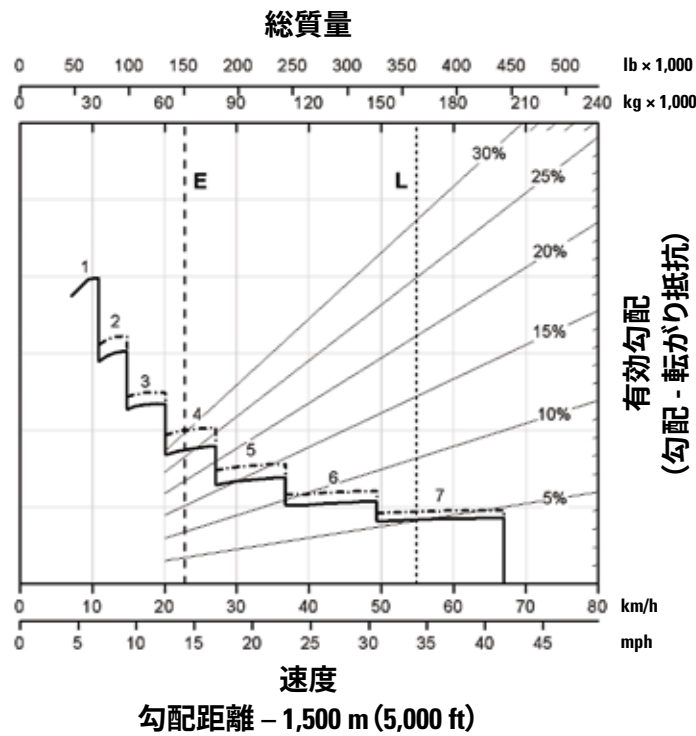
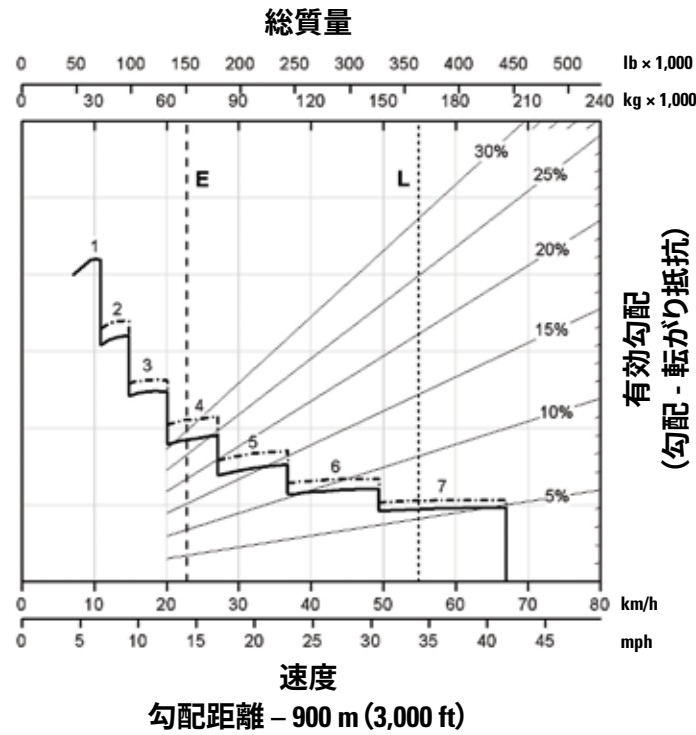
777ダンプトラック仕様

性能 - Tier 2相当



----- エンジンブレーキ

性能 - Tier 2相当



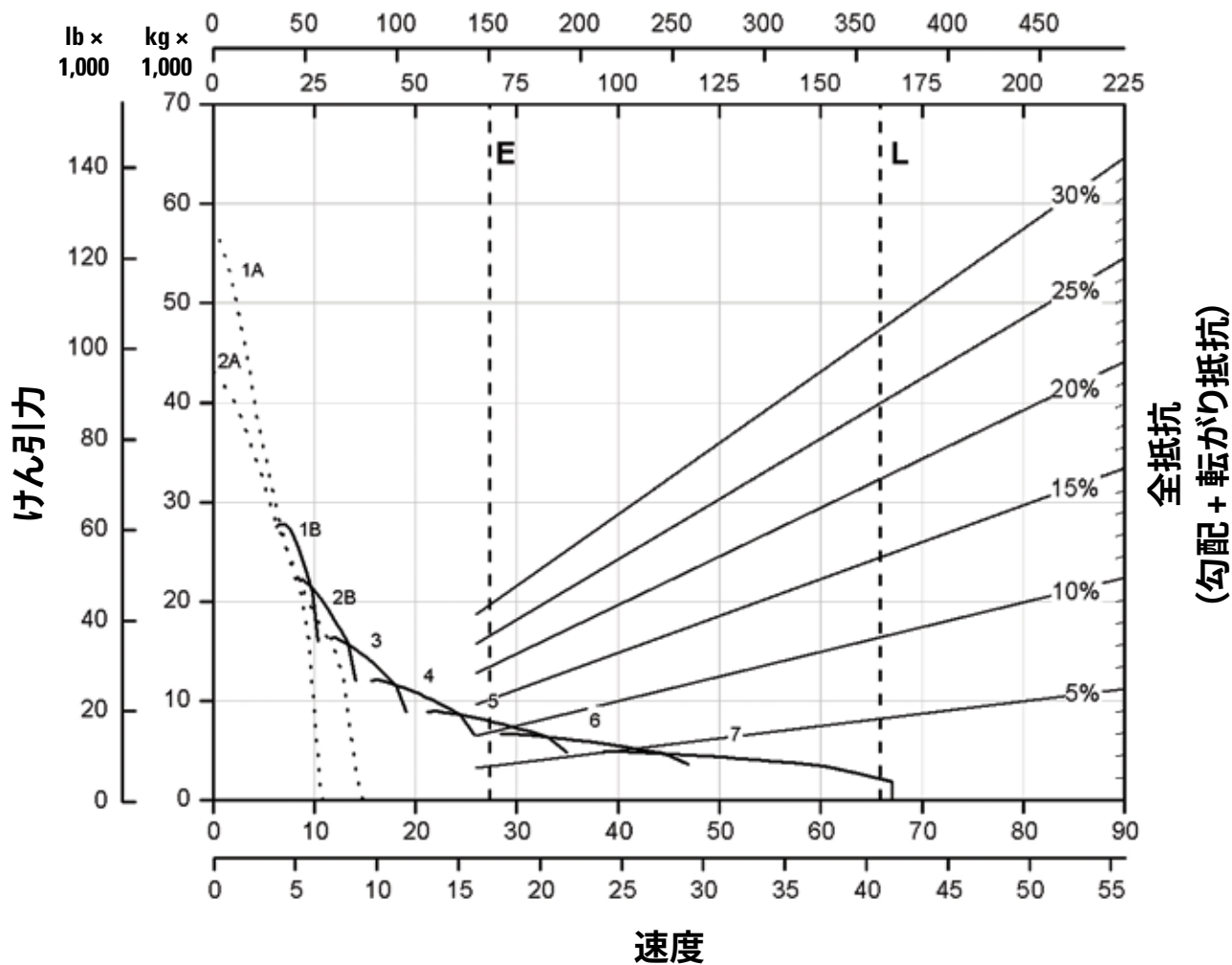
----- エンジンブレーキ

777ダンプトラック仕様

登坂能力/速度/けん引力- Tier 4 Final/Stage V

登坂能力を確認するには、総質量から下ろした垂線と全抵抗(%)の交点を読み取ります。全抵抗は、転がり抵抗10 kg/t (20 lb/米トン) につき1%を、実際の勾配(%)に足したものです。この質量と抵抗の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大速度を確認します。有効けん引力は、トラクションの程度と駆動ホイールの質量によって異なります。

777けん引力-回転数-登坂能力
 • 27.00R49タイヤ
 総質量

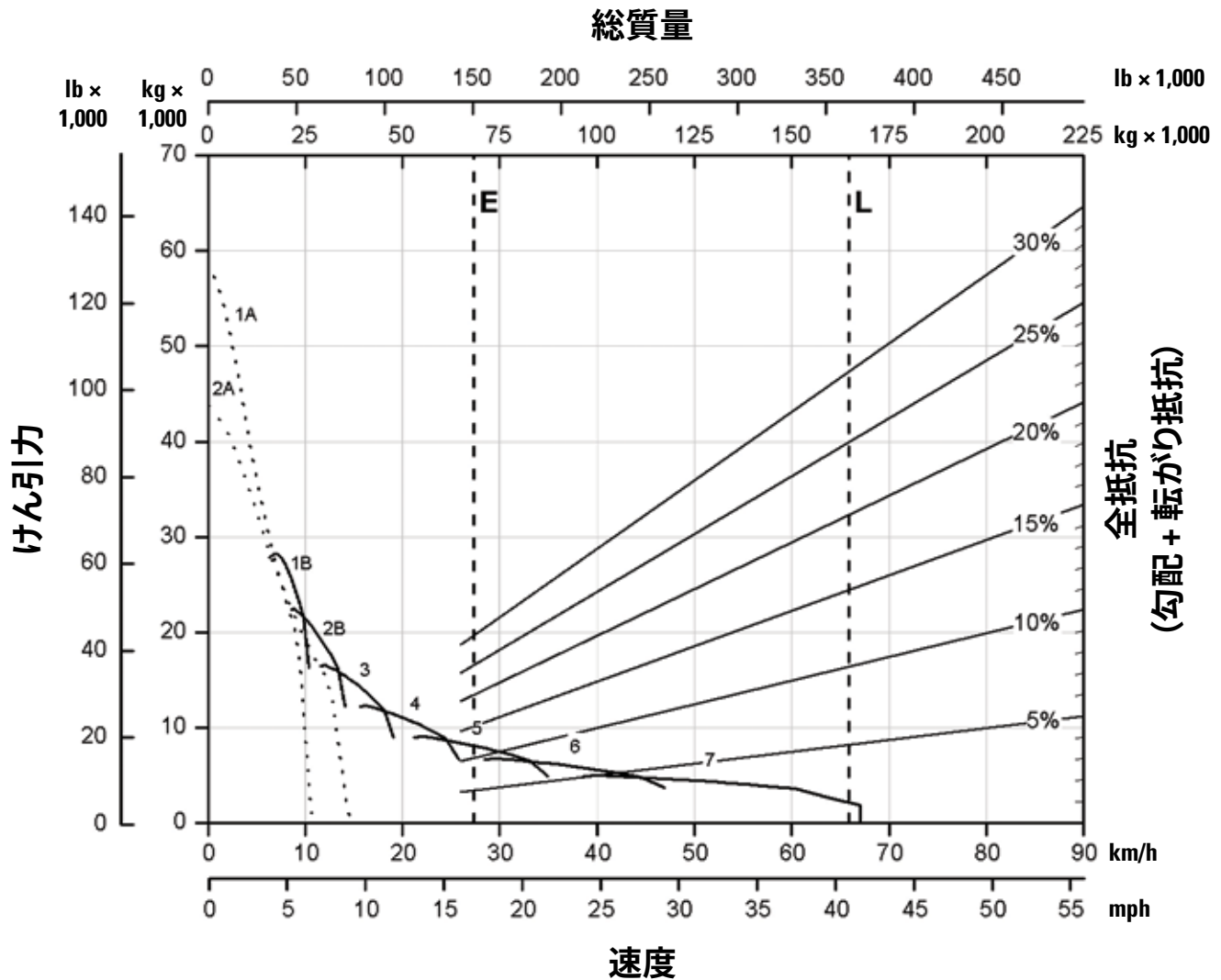


E—無積載時68,316 kg (150,612 lb)
 L—目標GMW 164,654 kg (363,000 lb)

1A—1速ギヤ(トルクコンバータ)
 1B—1速ギヤ
 2A—2速ギヤ(トルクコンバータ)
 2B—2速ギヤ
 3—3速ギヤ
 4—4速ギヤ
 5—5速ギヤ
 6—6速ギヤ
 7—7速ギヤ

登坂能力/速度/けん引力 – Tier 2相当

登坂能力を確認するには、総質量から下ろした垂線と全抵抗(%)の交点を読み取ります。全抵抗は、転がり抵抗10 kg/t (20 lb/米トン)につき1%を、実際の勾配(%)に足したものです。この質量と抵抗の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大速度を確認します。有効けん引力は、トラクションの程度と駆動ホイールの質量によって異なります。



777ダンプトラック標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat®ディーラーにお問い合わせください。

標準 オプション		標準 オプション	
パワートレイン		運転席	
エアフィルタ(プレクリーナ付き) (2)	✓	アドバイザタッチスクリーンディスプレイ	✓
エアツアエアアフタクーラ(ATAAC、Air-To-Air Aftercooler)	✓	エアコン	✓
自動コールドモードアイドルコントロール	✓	灰皿およびシガレットライタ	✓
オートストール	✓	自動温度制御	✓
ブレーキシステム: エクステンデッドライフブレーキ、ブレーキ摩耗インジケータ、リターダ自動制御(ARC) (オイル冷却式マルチディスクブレーキを使用)、ブレーキ解除モータ(けん引用)、手動リターダ(オイル冷却式マルチディスクブレーキを使用)、オイル冷却式およびマルチディスク(フロント/リア)、パーキング、セカンダリ、サービス	✓	コートフック	✓
CAT C32Bエンジン(Tier 4 Final/EU Stage V/Tier 2/EU Stage II)	✓	カップホルダ(4)	✓
CATエンジン圧縮ブレーキ	✓	診断コネクタポート(24 V)	✓
寒冷地用パッケージ	✓	電動式左ウィンドウコントロール	✓
電気式寒冷始動補助(2個のスタータと4個のバッテリー)	✓	娯楽ラジオ対応: 5 Aコンバータ、スピーカ、アンテナ、ワイヤリングハーネス	✓
電動プライミングポンプ	✓	フットレスト	✓
オートアイドルリングストップ機能	✓	ゲージ/インジケータ: ブレーキオイル温度、冷却水温度、アワーメータ、タコメータ、エンジン過回転インジケータ、燃料レベル、スピードメータ(走行距離計付き)、トランスミッションギヤインジケータ	✓
エーテル始動補助装置	✓	ヒータ/デフロスタ(11,070 kCal/43,930 BTU)	✓
エクステンデッドライフクーラント(-35 °C/-30 °Fまで対応)	✓	一体型のホイストおよびトランスミッションコントロール	✓
ファン - 速度変更(Tier 4)	✓	ホーン(電気式)	✓
ファン - 速度変更(Tier 2)	✓	ライト: ドーム、車内	✓
燃料フィルタ(ウォータセパレータ付き)	✓	自動積載量カウンタ	✓
マフラ(排気) (Tier 2)	✓	ミラー(凸面鏡)	✓
マフラ(騒音低減) (Tier 2)	✓	ミラー(ヒータ付き)	✓
トランスミッション: 7速自動パワースhift(電子制御クラッチ圧力コントロール(ECPC)付き)、トルクシフト管理、パートスロットルシフティング、ボディ上げシフトインヒビタ、方向シフト管理、ダウンシフトインヒビタ、ニュートラル始動スイッチ、ニュートラル時惰性走行インヒビタ、リバースシフトインヒビタ、ダンプ中のリバースニュートラライザ、プログラム可能なトッブギヤ選択、先進トランスミッション電子制御システム(APECS、Advanced Productivity Electronic Control Strategy)、自動ニュートラルアイドル	✓	電源ポート(12 V)、2個	✓
ターボチャージャ(2)	✓	ROPSキャブ(絶縁/騒音抑制型)	✓
電気装備		シート、CAT次世代デラックス、巻き取り式4点支持シートベルト(ショルダーハーネスおよびシートベルトリマインダー装備)	✓
後進警報アラーム	✓	予備リム	✓
オルタネータ(115 A)	✓	ステアリングホイール(パッド付き、チルト機能、伸縮機能付き)	✓
ジャンプスタート用補助ソケット	✓	収納スペース	✓
メンテナンスフリーバッテリー12 V 4個、200アンペア時	✓	サンバイザ	✓
電気系統(25 A、24 V-12 V変圧器)	✓	スロットルロック	✓
照明システム(LED): 後退灯、方向指示器/ハザード警告(フロントおよびリア)、ヘッドライト、積載質量インジケータライト、オペレータ乗降用車内灯、側面ライト、ストップ/テールライト、サービスライト	✓	着色、ラミネート加工ガラス	✓
		トラック生産管理システム(TPMS)	✓
		視界パッケージ(ISO 5006規格に適合)	✓
		ウィンドウ(ヒンジ付き乗車/降車ドア、右側)	✓
		キャブフロントウィンドウワイパ(間欠調整およびウォッシュャ)	✓
		テクノロジー製品	
		アダプティブエコノミーモード	✓
		Advanced health	✓
		物体検出(カメラx2)	✓
		物体検出(カメラx4)	✓
		Product Link™対応(レベル1)	✓
		道路解析制御(RAC)	✓
		TKPH/TMPH(トンキロメートル毎時/トンマイル毎時)	✓
		作業範囲ビジョンシステム(WAVS)	✓

777ダンプトラック標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品 (続き)

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

標準		オプション	標準		オプション
その他			その他(続き)		
自動潤滑グリースフィッティング		✓	グラウンドレベルバッテリーディスコネクト	✓	
ボディ下降インジケータ	✓		地上からエンジンシャットダウンが可能	✓	
ボディヒータ、ライナ、サイドボード		✓	地上からアクセス可能なグリースフィッティング	✓	
ボディマウンティンググループ	✓		泥よけパッケージ		✓
ボディ安全ピン(ボディを「上げ」位置に固定)	✓		オイル再生システム		✓
キャブプレクリーナ		✓	リアアクスルフィルタ(RAX)		✓
中央搭載式リム	✓		リザーバ(セパレート型): ブレーキ/ホイスト、ステアリング、トランスミッション/トルクコンバータ	✓	
集中グリースフィッティング	✓		リム(19.5 x 49)	✓	
コントロール、ホイスト		✓	ロックイジェクタ	✓	
ドライブラインガード	✓		自動補助ステアリング装置	✓	
エンジンクランクケースガード	✓		固定用の穴	✓	
エンジン騒音低減(XQ)(Tier 4)		✓	けん引用フック、フロント/けん引用ピン、リア	✓	
ファンおよびACガード	✓		トラクションコントロールシステム(TCS)(新バージョン)		✓
消火用機器対応	✓		盗難防止ロック	✓	
消火アレンジメント		✓	車輪止め		✓
液体充填サービスセンター		✓	Wiggins高速燃料	✓	
燃料レベルモニタリング		✓			
燃料タンク(1,136 L/300 gal)	✓				
燃料タンク(1,325 L/350 gal)		✓			

777の環境に関する宣言

次の情報は、本書の対象となっている地域で販売するために構成された、最終製造時の機械に適用されます。この宣言の内容は発効日時点で有効ですが、機械の機能および仕様に関連した内容は予告なしに変更されることがあります。詳細については、機械の取扱説明書を参照してください。

サステナビリティの実例および当社の進捗状況については、<https://www.caterpillar.com/en/company/sustainability>をご覧ください。

エンジン

- CAT® C32Bエンジンは、米国EPA Tier 4 FinalおよびEU Stage V排出ガス基準に適合したコンフィギュレーション、または米国EPA Tier 2相当の非認定コンフィギュレーションで提供されています。
 - CAT U.S. EPA Tier 4およびEU Stage Vエンジンは、ULSD(硫黄含有量15 ppm以下の超低硫黄ディーゼル燃料)の使用を必要とし、最大で次の割合の低炭素強度燃料**を混合したULSDに対応しています*。
 - ✓ 20%のバイオディーゼルFAME(脂肪酸メチルエステル)***
 - ✓ 100%の再生可能ディーゼル、HVO(水素化植物油)、およびGTL(ガス液化)燃料
 - 米国EPA Tier 2相当、または米国EPA Tier 3およびEU Stage IIIA相当の排ガス規制に適合しているCATのエンジンには、次の濃度を上限とする低炭素強度燃料***が混合されているディーゼル燃料をお使いいただけます*。
 - ✓ 100%のバイオディーゼルFAME(脂肪酸メチルエステル)****
 - ✓ 100%の再生可能ディーゼル、HVO(水素化植物油)、およびGTL(ガス液化)燃料
- 適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Catディーラにお問い合わせいただくか、『Caterpillar推奨の機械油水類』(SEBU6250)を参照してください。
- * Caterpillarのエンジンはこれらの代替燃料に対応していますが、地域によっては使用が許可されていない場合もあります。
- ** 排気管での低炭素強度燃料からの温室効果ガス排出量は、従来の燃料と基本的に同じです。
- *** 後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大100%のバイオディーゼルを使用できます(混合率が20%を超えるバイオディーゼルの使用については、Catディーラにお問い合わせください)。
- **** バイオディーゼルの混合レベルが20%より高い燃料の使用については、Catディーラにお問い合わせください。

エアコンシステム

- 当機械のエアコンシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒R134aまたはR1234yfを使用しています。ガスの識別情報については、機械のラベルを参照してください。
- R134a(地球温暖化係数=1430)を使用した場合、システムには1.9 kg(4.2 lb)の冷媒、つまり2.71メートルトン(2.674トン)のCO₂相当物が含まれます。
- R1234yf(地球温暖化係数=0.501)を使用する場合、システムには1.85kg(4.1 lb)の冷媒、つまり0.001メートルトン(0.001トン)のCO₂相当物が含まれます。

塗料

- 把握できる限りの情報に基づく、次の重金属の塗装内の最大許容濃度(ppm単位)は次のとおりです。
 - バリウム < 0.01%
 - カドミウム < 0.01%
 - クロム < 0.01%
 - 鉛 < 0.01%

騒音 – Tier 4 Final/Stage V/Tier 2相当

オペレータ音圧レベル(ISO 6396:2008)	71 dB(A)
機械音圧レベル(ISO 6395:2008)	116 dB(A)

- 運転者音圧レベルは、ISO 6396:2008に従って測定した場合の値です。この測定は、エンジン冷却ファン速度を最高回転数の70%にして行われています。
- 車両音響出力レベルは、ISO 6395:2008に従って測定した場合の値です。この測定は、エンジン冷却ファン速度を最高回転数の70%にして行われています。
- 開放型の運転室やキャブ(適切にメンテナンスされていない場合や、ドア/ウィンドウを開いている状態)で、長時間作業を行うときや騒音の激しい環境では、聴力保護具が必要になる場合があります。

油水類

- 工場出荷時には、エチレングリコール冷却水が充填されています。CATディーゼルエンジン不凍液/クーラント(DEAC、Diesel Engine Antifreeze/Coolant)およびCATエクステンデッドライフクーラント(ELC、Extended Life Coolant)は、リサイクルできます。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。
 - CAT Bio HYDO™ Advancedは、EU Ecolabel認証済みの生分解性作動油です。
- その他の油水類も存在する可能性があります。詳細な推奨油水類およびメンテナンス間隔については、取扱説明書または用途および設置ガイドを参照してください。

機能およびテクノロジー

- 次の機能およびテクノロジーは、燃料の節約および二酸化炭素排出量の削減に貢献する可能性があります。機能は異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。
 - 標準およびアダプティブの2つの燃料エコノミーモードにより燃料消費量を自動的に最適化します。
 - トラックが事前に設定した時間、駐車またはアイドルリングした場合に、調整可能なオートアイドルストップ機能により燃料が節約されます。
 - 速度制限により、より燃料効率の良いエンジン回転数とギヤ選択で運転できます。
 - 作動油フィルタの耐用期間が延長され、交換間隔が1,000時間と長寿命になります。

CAT製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Webサイト (www.cat.com) をご覧ください。

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械はオプション装備品を含む場合があります。利用可能なオプションについては、Catディーラにお問い合わせください。

© 2025 Caterpillar. All Rights Reserved. CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、それらの各ロゴ、Product Link、"Caterpillar Corporate Yellow"、"Power Edge"およびCat "Modern Hex"のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

AJXQ3420-04 (12-2025)
AJXQ3420-03の改訂版
ビルド番号: 07
(Global)

